

事務事業名 パープルプラザフェスタ事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：649

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-11-538
基本事業：	02	生涯の学びを地域で活かせる人づくり	担当部	教育部
基本事業の成果指標	地域で活動する人材の育成人数 生涯学習ボランティア新規登録数 自らの知識や能力を活かし、地域で活動している市民・団体の数		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民、地域活動・学習活動団体			【パープルプラザフェスタ】 開催日：10月第4月曜日前の土・日の2日間 内容：作品展示、ステージ発表など 備考：主要3団体で実行委員会を結成、企画運営を行う。人権政策・男女共同参画、教育政策、農政に関する行政の啓発活動も実施。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
学習グループが、日頃の学習の成果を発表することができ、多くの市民の学習意識が向上する。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
来場者数（パープルプラザ）		人	1,966	3,157	3,200	3,200			5,000
参加団体数（パープルプラザ）		団体	52	51	60	60			130
5. コスト									
事業費		計	千円	1,018	1,803	2,144	1,548		
		国	千円		0	0	0		
		県	千円		0	0	0		
		地方債	千円		0	0	0		
		その他	千円		0	0	0		
一般	千円	1,018	1,803	2,144	1,548				
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.3				
正職員人件費		千円	2,318	2,345	2,407				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,336	4,148	4,551	1,548			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していたが、令和4年度は開催規模を例年よりも縮小した上で実施した。令和5年度の来場者数は前年度から1,191人増加した。新型コロナウイルス感染症の5類移行や、イベント広場で食バザーを再開したことで、来場者数の増加につながった。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし	市民協働のフェスティバルにしていくために、実行委員会の中で、より具体的な協議を行い、企画案を検討していく必要がある。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
パープルプラザフェスタは実行委員会により構成されているが、高齢化などにより脆弱している団体もあり、実行委員会の構成の在り方・フェスタ運営のそのものを見直す必要がある。				市民協働のフェスティバルが本来の趣旨であるため、参加団体がより主体的に運営に関わる必要がある。					
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
生涯学習センター閉館の平成13年度から生涯学習フェスティバルを開催し、平成14年度から文化会館、カミーリヤ、農トレと開催時期をずらして開催することにした。令和4年度からは生涯学習フェスティバルの統一名称を終了した。				市民団体との協議を充分に行いながら、市民協働のフェスティバルに変えていくために、平成23年度からそれぞれのフェスタで実行委員会を結成し、細かな対応ができるようにした。					